

令和2年度 第1回蕨市いじめ問題対策連絡協議会 議事録

1 日 時 令和2年6月25日(木) 10:00~11:30

2 会 場 市役所4階 第一委員会室

3 出席者(敬称略)

委 員：佐藤 慎也 藤井 博子 國井 信太郎 福田 望
松永 祐希 山口 浩 志水 正子 池上 東二
松本 隆男

事務局：原田 卓治(教育部次長)
佐々木 秀(学校教育課指導主事)
齋藤 大輔(学校教育課指導主事)

4 内 容

【開 会】 原田 卓治

【協 議】

(1) 蕨市立小・中学校の状況

事務局から説明

- 令和元年度「文部科学省 児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸課題に関する調査」における蕨市内の状況
- いじめの認知や解消、暴力行為、長期欠席児童・生徒に関する説明

《質疑応答》

特になし

(2) いじめ防止に向けた取組

事務局から説明

- 蕨市いじめ未然防止ワーキンググループの成果と課題について報告
 - ・蕨市版学校生活アンケートの実施について 等
- 児童・生徒の自主的活動
 - ・「蕨市いじめのない明るい学校づくり会議」 等
- 長期休業明けの生徒指導上の問題行動や課題への取組
 - ・感染者、医療従事者等に対する偏見や差別、いじめについて(県からの通知) 等

〈質疑応答〉

[委員]

「アンケート結果のグラフの見方を説明してほしい。」

[事務局]

※グラフの見方を説明

[委員]

「アンケート結果のまとめは1月か。検証はどのように行っていくのか。」

[事務局]

「まとめはこれまで通り、原則として各学期に2回ずつを考えている。今年度の1学期については、年度当初の休業期間もあったため、この限りではない。検証については、初めての試みとなるアンケートなので、開始と同時に1回ごとに行っていく。」

[委員]

「結果はいつから生かすのか。」

[事務局]

「集計、分析後から順次、各クラスで生かしていく。グラフの結果から、クラスごとの結果にその担任や担当が一喜一憂するのではなく、学年や学校全体の課題として対応策を考えていくように扱うものである。」

[委員]

「この結果については公開するのか。」

[事務局]

「これまでの生徒指導や教育相談のアンケートと同様、公開はせず校内での生徒指導のために活用していく。」

[委員]

「学校再開後の生徒指導上の問題行動等への取組の中にある、SNS上の書き込み等への対応とは、どんなものがあるか。」

[事務局]

「ネットパトロールで対応している。現在、報告されている問題はない。」

[委員]

「蕨市における、家庭でのインターネットを活用しての学習環境はどうなっているか。」

[事務局]

「インターネットを活用しての学習支援として、各種の学習プラットフォームのサービス活用や学習動画配信を、4、5月の間に順次進めている。通信環境の整っていない家庭への支援については、紙媒体での教材の提供や学校のPC室の開放などを検討するなど、今後の第2波、第3波による休業措置等が生じた場合に備え、個々の家庭の通信環境等に応じた対応について準備を進めている。」

(3) 各機関・団体からの報告

[委員]

※行方不明事案、児童虐待に関わる相談件数等について情報提供

「児童虐待関連では、近所の人や通行人、または公園やスーパーなどでそういった場面を見かけた人が通報してくる例が増えている。市民の虐待に対する関心は高い。」

[委員]

「非行行為などに端を発する保護活動の対象者は、年々減ってきている。保護対象者への対応は、保護司の自宅に招くなどは困難なので、総合社会福祉センターなどを利用している。ただ、保護対象者が保護司に危害を加えるようなことはない。また7月は保護活動強化月間である。」

[委員]

「3～5月は会議等も中止が多く、学校への出入りもなかった。6月からいろいろな活動を再開しているが、子供たちに会うとみな元気に挨拶をしてくれた。」

[委員]

「学校の授業再開に関連するいじめ等については、今のところ報告はない。子供たちは新しい生活様式に馴染んでいけるように頑張っている。小学校1年生の中には、幼稚園や保育園からの接続の時点で約3ヶ月が空いてしまっているのが、学校生活への順応が早くない子もいる。」

「登下校の児童生徒を対象としている可能性のある、スマホによる不審な撮影事例が報告されている。新型コロナウイルス感染症への対応との関連も考えられる。」

[委員]

「学校などの公共施設が、スマホゲーム内で撮影スポットとして使用されている場合があり、撮影者のスマホが子供に向けられているように見えていることもある。」

[委員]

「ゲームの管理会社に依頼すれば、該当場所を撮影スポットから外すことができる。」

[委員]

「各学校を訪問した時の様子では、子供たちは元気に学校生活を送っている。机用の飛沫防止ガードを学習や給食時に使用し、感染拡大防止に努めていた。」

「スマートフォンの使用について、国の規制が緩和されつつある。蕨市の小中学校は現状では基本的には禁止としている。SNSトラブルの原因ともなるので、取扱いについては慎重に検討すべきであろう。」

「休業期間の学習時間を、今後の夏期、冬季休業日を短縮して補っていく。」

【その他】

事務局より事務連絡

・令和2年度第2回蕨市いじめ問題対策連絡協議会

11月開催予定

【閉会】 原田卓治